

寒川町指定重要文化財候補について

物件名：西寒川支線跡（仮）

所 在：一之宮公園（一之宮緑道及び八角広場） 一之宮3丁目 2172-1 の一部

所有者：寒川町

管 理：都市計画課都市みどり担当

沿 革：大正4年（1915）茅ヶ崎町長他から「相模鉄道株式会社発起趣意書」「起業目論見書」が作成され、鉄道院に対し鉄道営業の免許申請がされる。

大正10年（1921）9月28日 相模鉄道株式会社が茅ヶ崎駅-寒川駅間及び寒川駅-川寒川駅間を開通

大正11年（1922）5月10日 寒川駅-四之宮駅間が砂利貨物として開通（後の西寒川支線）

昭和19年（1944）国有化 四之宮口駅から西寒川駅に改称 路線も見直しがされ、寒川駅-西寒川駅間の形となる

昭和24年（1949）国鉄が発足し、「相模線」となる

昭和59年（1984）3月31日廃線

昭和62年（1987）支線跡地の一部である大門踏切付近「ゲート広場」から「八角広場」までの900m緑道が整備される。途中の一之宮公園内に約200mレールが保存されている。

平成元年（1989）3月 西寒川駅跡地に一之宮緑道終点として八角広場が整備される。約20mレールが保存されている。

平成30年（2018）「西寒川支線 廃線跡」としてNPO 法人湘南遺産プロジェクトによって「湘南遺産」に選定される。

選 定：平成28年度に文化財保護委員会において設定した町指定重要文化財候補一覧から審議スケジュール案に沿って協議案件とした
また令和3年で相模線が、令和4年で西寒川支線が100周年となり記念となる時期であるため

その他：文化財的観点からの調査事例は無い。

鉄道・廃線史的観点からの調査は民間研究社によって実施されホームページ等に公開されている。

町観光協会関連のホームページにも詳しく記載がある。それによると、残存レールに「皇紀」の年号があるなど注目すべき点が記載されている。

文化財の区分的には「史跡・名勝」か「建築物」か。

鉄道・産業遺産の文化財的価値の把握について調査研究をしている専門的学識者の意見が必要か

町指定重要文化財候補リスト

	名 称	所有者	所在地	種 別	時代	説明
I	1 木製香印盤	景観寺	同	美術工芸 工芸品	江戸	数少ない江戸時代の香印盤として貴重である。
	2 銅製鰐口	小谷地区	旧観音堂	美術工芸 工芸品	江戸	銘文により観音供養のため元和3年(1617)に奉納されたことが知られ、町内では数少ない鰐口の資料として貴重である。
	3 銅製鰐口	行安寺	倉見観音堂	美術工芸 工芸品	江戸	銘文により庚申供養のため元禄13年(1700)に奉納されたことが知られ、町内では数少ない鰐口の資料として貴重である。
	4 色々緋二枚胴具足 総毛引紅糸緋二枚胴具足	寒川神社	同	美術工芸 工芸品	江戸	江戸時代当世具足として貴重なものである
	5 寒川神社文書	寒川神社	宮山	美術工芸 古文書	近世～近代	町内古文書の中でも、比較的まとまっており、町の歴史を知る上で貴重なものである
	6 追儺祭	寒川神社	同	無形民俗		寒川神社特有の古式祭
	7 武佐弓祭	寒川神社	同	無形民俗		寒川神社特有の古式祭
	8 旧西寒川線跡	町	一之宮	史跡	昭和	旧西寒川線の跡地。寒川の近代の歴史の名残を残す。旧相模海軍工廠碑もある。
II	9 阿弥陀三尊来迎図	念宗寺	同	美術工芸 絵画	室町時代	町内最古の仏画として貴重である。
	10 三十三応現身像	景観寺	同	美術工芸 彫刻	室町～江戸	三十三のうち三十体が残る貴重である
	11 不動明王坐像	西善院	同	美術工芸 彫刻	室町	大山信仰をあらわれとして重要な作品である
	12 入沢家文書	個人	一之宮	美術工芸 古文書	近世～近代	町内古文書の中でも、比較的まとまっており、町の歴史を知る上で貴重なものである
	13 寒川町公文書	町	宮山	美術工芸 古文書	近代	公文書も近代の町の歴史を知る上で貴重なものである
	14 乳文鏡	神奈川県	倉見川端遺跡出土	美術工芸 考古	古墳時代	古墳等から出土することが多いが、竪穴住居址から出土し、県内でも類例が少なく貴重である。
	15 大曲五反田遺跡の出土遺物	神奈川県	大曲五反田遺跡	美術工芸 考古	奈良・平安時代	国指定遺跡となった下寺尾官衙遺跡群の一角をなす遺跡である。旧河道から出土した遺物は当時の信仰を色濃くあらわす
	16 田打舞神事	寒川神社	同	無形民俗		寒川神社特有の古式祭
	17 木造十一面観音坐像	小谷地区	旧観音堂	美術工芸 彫刻	江戸	胎内に納入文書有り。
	18 皆川家文書	個人		美術工芸 古文書	近世～近代	町内古文書の中でも、比較的まとまっており、町の歴史を知る上で貴重なものである
	19 地神塔	個人	田端	有形民俗	江戸	銘文により安永8年(1779)のものとなり、像容の地神塔としては県内最古とおもわれ希少価値あり
	20 準四国八十八ヶ寺巡りの弘法大師坐像(町内9体分)	各寺院等	岡田、大曲、一之宮、宮山、大蔵	有形民俗	江戸	江戸期の庶民信仰を知ることができる。
	21 岡田遺跡	個人	岡田地区	史跡	縄文時代	国内最大級の住居址数をほこる遺跡。西側は開発により隠滅。
	22 寒川小学校100年桜	町	岡田	天然記念物		寒川小学校を象徴する樹木。痛みが激しい

Ⅲ	23	倉見駅舎	企業	倉見	建築物	大正	大正時代の駅舎がそのまま利用されている
	24	水道記念館	神奈川県企業庁	宮山	建築物	昭和初期	寒川浄水場旧ポンプ所の建築物を使用している
	25	灯籠立て (大山灯籠)	各地域	大曲、岡田、 大蔵地区	無形民俗	江戸	大山信仰を表す。現在でも一部残る。
	26	地藏菩薩立像	個人	宮山(旧地 蔵院)	美術工芸 彫刻	江戸	旧地藏院本尊と思われる。江戸期の像としては水準以上の作品
	27	門構え	個人	一之宮	建築物	近世～近代	I邸
	28	門構え	個人	大蔵	建築物	近世～近代	長屋門(T邸)
	29	門構え	個人	岡田	建築物	近世～近代	M邸
	30	稲荷講	宮山地域	宮山	無形民俗	江戸	平成18年度に調査が行われており、継続している模様である。
	31	地神講	大蔵地域	大蔵	無形民俗	江戸	平成18年度に調査が行われており、継続している模様である。
	32	念仏講	岡田地域	岡田	無形民俗	江戸	平成18年度に調査が行われており、継続している模様である。
33	寒川神社の参道の森	寒川神社	宮山	史跡 天然記念物		歴史的参道。県の保護樹林	